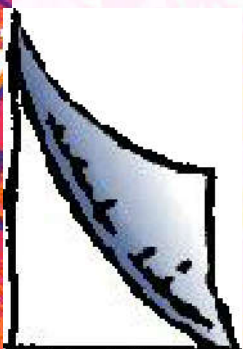


第3課青い時間



単語

- 1. 役に立つ

日本語の勉強に～～

- 2. 付き合う

(1) 人と交際する。まじわる。

「長年一・つた仲」

(2) 義理や社交上の必要から、相手に 合わせ て行動する。

「食事に一・う」「買物に一・う」

[可能] つきあえる



- 3. 素敵

- (1)心を引き付けられるさま。すばらしいさま。

「一なお洋服ね」



• 4. 一言

- (1) 一つの言葉。一語。

「一も聞きもらさない」

- (2) ちよつとした短い言葉。

「一言わせてほしい」

一一多・い

言わなくてもいいことを言う。



• 5. 通う

- (1) 定期的に同じ所へ行って帰る。

「医者に一・う」「学校へ電車で一・う」

- (2) ある場所へ道筋がいたる。通じている。

「日光へ一・う街道」

- (3) 道筋をたどって物が一方から他方に至る。

「全身に血が一・う」

- (4) 気持ちがつたわる。心が通じる。

「心の一・わなない人」



- (6)似る。共通する。

「潮騒(しおさい)に一・う響き」

- (7)詳しく知っている。

「女の御おきてには至り深く仏の道にさへ
一・ひ給ひける/源氏(御法)」

- (8)交差する。

「夏より既に秋は一・ひ/徒然 155」

[可能] かよえる



・ 6. 即する

動サ変)

離れないで、ぴったりとつく。ぴったりとあてはまる。

「事実に一・して考える」

ほう～～して考える



- 7. なお(p56)



• 8. 余計

形容動詞

too much

～～に注文してしまった。

人より～～休みを取る。

Unnecessary

～～な心配

～～なお世話だ自分にと

っては必要のない相手の手助けや差し出口
をいう語。



• 副詞

見るなと言われると～～見たくなる



- 9. はっきり

- (副)スル

- (1)鮮明で他のものから明らかに区別できるさま。

- 「一(と)見える」～～と発音する

- (2)確かで間違いのないさま。曖昧なところがないさま。

- 「原因は一(と)している」「天気が一しない」



- ・ (3)体調や気分が壮快なさま。すっきり。
「頭が～～しない」
気分が～～する
- ・ (4)遠慮しないで、気持ちを露骨に表現するさま。
直截了当 干脆 痛快
- ・ 「ずいぶん～～した人だ」「この際～～言っておく」



・ ぐんぐん

・ (副)

物事の進み方のはやいさま。また、力強いさま。どんどん。ぐいぐい。

「たこが～～空に昇って行く」

・ 「成績が～～(と)上がる」「～～引っぱる」
仕事が～～

・ 背が～～伸びる

・



・ 引き込む

引いて中に入れる

水道を～～

電線を家へ～～～

仲間に～～

悪事に～～

風邪を～～



• 億劫

面倒くさくて気が進まない

書き直すのは～～だ

口をきくのも～～だ



・ ぱらぱら

・ (「と」を伴っても用いる)

(1)比較的小さな粒状の物が、少量ではあるが連続的に落ちかかるさま。また、その時に出る音を表す語。

「雨は朝のうち—と降っただけだ」「塩を—(と)ふりかける」

(2)本を手早くあちこち開いてみるさま。また、その音を表す語。

「雑誌を—(と)めくる」





- ・ (3)物事の量が少なく、ところどころしかないさま。まばらなさま。
「一面の黄色い花の中に赤い花が～～と咲いている」
0 (形動)
(1)まばらであるさま。
「聴衆は一だった」
(2)髪の毛が乱れ落ちかかるさま。
「～～に鬢が乱れて、面影も痩せたやうに/婦系図(鏡花)」

- ・ 捲る
- ・ (1)端をまいて上げる。また、はぐ。
ページを～～



- ・ 抛り出す
- ・ かばんから本を～～
- ・ やりかけた仕事を～～
- ・ 学校を～～だされる



- 尽きる
- (1)次第に減って行って、全くなくなる。
「体力が一・きる」「食糧が一・きる」
- (2)終わる。はてる。
「話は一・きない」「道が一・きる」
- (3)（「...に尽きる」の形で）限度にまで達し、他には何も残らない。きわまる。
「幸運の一語に一・きる」「楽しみはここに一・きる」



・ なんとなく

・ (副)

(1)はっきりした理由や目的もなく。わけもなく。どことなく。

「—好きだ」「—旅に出る」

(2)何ということもなく。平凡に。

「～～—生を送ってしまった人」



・ すっきり

・ (多く「と」を伴って)

(1)よけいなものがなく、あかぬけしているさま。

「—(と)したデザイン」「—(と)した文章」

(2)わずらわしいことがなくて、気持ちのよ良さ
ま。さっぱり。

病気が—(と)なおる 頭が—する」



- (3)筋が通っているさま。わかりやすいさま。はつきり。
「どうも—しない話だ」
- (4)すっかり。全部。
「身代を一助六に入りあげる/歌舞伎・助六」
- (5)（下に打ち消しを伴って）さっぱり。少しも。



- ・「どうして 心がスッキリしないんだろ
う？」
- 「どうして空虚な気分がつきまとうんだろ
う？」
- 「どうしてこんなに心が窮屈に感じるんだ
ろう？」
- 「どうして思うように話せないんだろう？」
- 特に大きなトラブルがあったというわけ
でもないのに



- ・ 突き放す
- ・ (1)強く押して離れさせる。突いて離れさせる。
「追いすがる子供を—・す」
- ・ (2)ことさらに冷たい扱いをする。
「親からも—・される」
- ・ (3)特別な感情を入れないで扱う。
「—・した見方をする」



・ だらけ

・ (接尾)

名詞に付く。

(1)そのものがいっぱいであるさまを表す。ばかり。

「借金—の生活」「紙くず—の部屋」「欠点—の人間」

(2)そのものが一面に付いているさまを表す。まみれ。

「どろ—の服」「血—になる」



【用法】 「名＋だらけ」

【意味】 「それでいっぱい、そればかり
たくさんある様子」

という意味。話し手のマイナス評価
を表すことが多い。

【用例】

▲子供は泥だらけの足で部屋に上がって
きた。

▲この部屋は何年も使わないので、ほこ
りだらけだ。



【比較】

A 彼女の部屋は本でいっぱいだ。

B 彼女の部屋は本だらけだ。

(部屋に本があるというだけでなく、多すぎたり、散らかっている感じがする)



- 爽快
 - さわやかで気持ちのよい・こと（さま）。
- 「一な目覚め」



- ・ もやもや
- ・ (1)もやがたちこめたように、ぼんやりしてよく見えないさま。
「湯気で—(と)した風呂場」「たばこの煙で部屋が—する」
- ・ (2)事情がはっきりせず不明朗なさま。
「真相は—(と)してつかみ難い」



- (3)心にわだかまりがあるさま。
「何かだまされたようで、—(と)した気持ちだ」
- (4)毛などがおい茂るさま。
「—と髭(ひげ)をはやす」



- ・ 挑む
- ・ (1)闘争・競争を仕掛ける。
戦争を～～
- ・ (2)難しい仕事などをやり遂げようと立ち
向かう。挑戦する。
世界記録に～～
- ・ 大自然に～～
- ・ 科学に～～



文型～～間(は)

あなたが電話をかけている間、わたしはここで
待ってます。

彼がいない間、わたしがかわりに通訳します。

電車に乗っている間は、新聞を読んでいた。

彼は会議の間ずっと居眠りをしていた。

子供が小さい間は、なかなか夫婦での外出がで
きなかった。



～～間に

- 留守の間に、泥棒が家に入った。
- 東京に居る間に、一度上野美術館へ行きたい。
- 彼は三年前、日本に留学している間に結婚しました。



おかげで

【意味】原因・理由。

【用法】

- ① 「～の助けがあったので、よい結果になった」という感謝の気持で言う場合。
 - ▶ 李さんが教えてくれたおかげで、授業の時間を間違えずに済んだ。
 - ▶ 豊かな水のおかげで、作物がよく育った。
 - ▶ 最近新しく発売された新薬のおかげで、ずいぶん元気になりました。



② 皮肉の意味で、悪い結果に導く場合。

- ▶ まったく、君に頼んだおかげで、かえってややこしいことになってしまったじゃないか。
- ▶ 林さんが急に休んだおかげで、今日は残業をしなければならなかった。
- ▶ 病気で一か月休んだおかげで、仕事がたくさんたまった。
- ▶ あいつのおかげで、ひどい目にあった。



接尾語「ながら」

【接続】「名詞＋ながら／ながらに／ながらの」

【意味】そのまま変化しないで続く状態・様子を表す。

慣用的な表現が多い。

【用例】

▲生まれながら


▲昔ながら

▲涙ながら

▲いつもながら

▲皮ながら



- 
- ① 母は鼻歌を歌いながら夕飯の用意をしている。
 - ② 狭いながらもようやく自分の持ち家を手の入れることができた。
 - ③ いつもながら、見事なお手並みですね。
 - ④ すぐ近くまで行きながら、結局実家に寄らずに帰ってきた。

【練習】 次の（ ）に適切な言葉を
いれなさい。

- ① （ ）彼の行動には感心する。
- ② この清酒メーカーは、（ ）
の製法で日本酒を造っている。
- ③ 被害者は（ ）に事件の状況
を語った。
- ④ この子は（ ）にして、すぐ
れた音楽的感性を備えている。



正解

- ① (いつもながら) 彼の行動には感心する。
- ② この清酒メーカーは、(昔ながら)の製法で日本酒を造っている。
- ③ 被害者は(涙ながら)に事件の状況を語った。
- ④ この子は(生まれながら)にして、すぐれた音楽的感性を備えている。



補充単語

- 1. てっきり=きっと
~~ そうだと思う
~~ 騙されたと思う



掴ます = 掴ませる

- 金を～～
- 騙して悪い品を買わせる
偽物を～～



名乗る

- ・ 自分の名や身分を他人に向かって言う。
「受付で—・る」「名を—・れ」
差し挟む
- ・ 口を～～
- ・ 疑いを～～



居合わせる

- ちょうどその場にいる。
「事故現場にー・せた人から事情を聞く」
- 補う

平日の寝不足は休日の朝寝坊で補う？

- このサイトでは疲労回復を補う栄養についてお伝えしていきます。



- 助け起こす

- 将来、君たちがお母さんとなつて赤ん坊が生まれたとしよう。やがてその子がよちよち歩きを始めて公園デビュー。外を散歩する。そのとき幼子が何かにつまづいてこける。子どもは手をついたまま、わんわん泣いて起き上がらない。
そのときどうする？ 助けに行くか。または「起きなさい」と言つて、自力で立ちあがるまで待つか。



・ 手立て

方法。対策。手段。

「救う—がない」

・ 手遅れておくれ【手遅れ/手後れ】

・ 手当てや処置の時機が遅れること。時機を失して、効果的な手を打てないこと。

– 「病気が—になる」

– 「今頃気がついても、もう—だ」



- 口を揃える 异口同声
- 口を出す 插嘴
- 口を叩く 信口开河
- 口を垂れる 低声下气地说
- 口をついてでる 脱口而出
- 口をつぐむ 闭口不言 噤若寒蝉
- 口を尖らす 撅嘴



- 口を慎む 不说废话, 慎言
- 口を閉ざす 沉默
- 口を拭う ぬぐう 装得若无其事
- 口をぬらす 勉强度日
- 口を挟む 插嘴, 多嘴
- 口をひきたる 撇嘴



- 口を封じる 封嘴
- 口を塞ぐ 堵嘴
- 口を咥る むしる 探口气
- 口を割る 坦白



- 1. 母は新しく発売された薬のおかげで、ずいぶん元気になりました。
- 2. 今は上手に話せなくても練習を重ねるうちに上手になります。
- 3. この清酒メーカーは昔ながらの製法で日本酒を造っている。
- 4. 電車が出るまでまだ少し時間があるから、今のうちに駅弁を買っておこう。



- 5. 今月引っ越したばかりの新しい家は狭いながらも駅に近いので満足している。
- 6. 体が丈夫なうちは健康のありがたさに気づかないが、病気になって初めてそれが分かる。



- 1. 今日、私は指揮者として成功できたのは佐藤先生の厳しいご指導のおかげです。
- 2. 父は働いているうちは若々しかったが、退職したとたんに老け込んでしまった。
- 3. 戦火から逃れてきた人々は涙ながらにそれぞれの恐ろしい体験を語った。



- 4. 残念ながら小学校から高校までの12年の間に、間違えずに私の名前が読めたのは年を取った漢文の先生ただひとりだった。
- 5. 彼は授業の間ずっと居眠りをしていた。
- 6. 田中さんが中国にいる間に一緒に旅行したかったのだが、残念ながらできなかった。



- 7. 笑ってはいけないとおもっているながら、あまり面白かったのでつい笑ってしまった。
- 8. ついさっきまでそんな元気だった李さんが、突然倒れたのでびっくりした。

